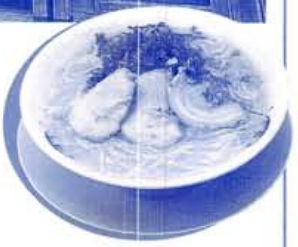


こだわりの本格派!



塩ラーメン 550円

多くの女性を虜にする、天然塩使用の濃厚白濁スープ。「コク深」ながらもあっさりとしたカラダにやさしい味わいだ。たっぷりのもやし・ネギなどの具もすべてオーガニック



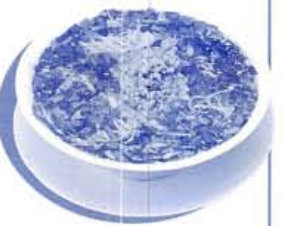
支那虎らーめん 550円

毎晩中にご来店する人気メニューの1つ! スープはコクとまろやかな醤油ベースで、麺との絡みも絶妙。昼食のタレでじっくり煮けた、とろけるような卵バラチャーシューも絶品だ



猛虎らーめん 650円

唐辛子が爽やかに利いた、ホットでまろやかな醤油系。たっぷり振られた豚そぼろもスパイシーな味群だ。カプサイシンによる新陳代謝効果も期待。女性にも大人気!



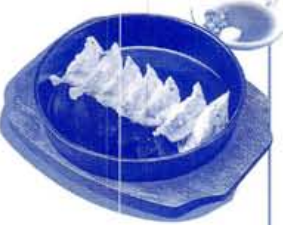
天むす 400円

名古屋発祥・支那虎ならではのサイドメニュー。旨みのあるエビ天をきゅっと巻いて、女性も嬉しいひと口サイズに。ティグアウトもでき、市内中心部なら電話一本で宅配もOK



鉄鍋餃子 300円

ノン・ニンニクだから仕事やデートの前でも心配なし! 特製ダレも余計なクセがなく、さっぱり味わえる。好みに、フレッシュな沖縄産黒唐辛子やおろしニンニクをプラスして



ランチタイムサービス (11:00~14:00)
ラーメンをご注文の方にライスorサラダを無料サービス

らーめん・餃子専門店
総本家
支那虎
支那虎・SHINATORA 烏丸五条店

TEL 075-353-8055
京都市下京区烏丸通五条下ル西側
営業時間 11:00~25:00 (L.O.)
年中無休

FC加盟店 募集中! 担当/伊藤



POWER PLAYSOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
W'd like to find your recommended one.

メロウな曲に隠された 普段だったら言えない言葉



CHAINS II / CHAINS

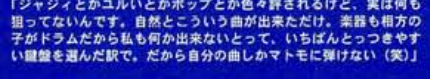
CARP RECORDINGS 1800円(税別)
「同じインディーズ会社に所属していた先輩。Vocalの新村さんは男性で黒人音楽がハマる数少ない人。ユルユルベースで活動してるのが好きです。ちなみにこのアルバムの1曲目にはViva Sherryもコーラスで参加!」



viva sherry / viva sherry

CARP RECORDINGS 1800円(税別)

「音楽をやり始めた頃に人に薦められて聴いてみた一枚。ソウルの名盤と言われるだけあって、意味なんか解らなくても泣けるくらい素晴らしい。惚れた曲は自分も歌いたいから、歌詞と訳のない輸入盤は買わないです!」



ライブでは踊ってね
サト / 「viva sherry」 Vo&keyboard

「viva sherry」は特別なコンセプトもなく、たまたま3年前に手の空いていた二人が揃ってそうなって...というコリイスタート。「これぞ全て!」な気持ちはなく、他バンドに参加したりしながら続ける「全体活動の一部」だ。だからだろう、ライブを重ねるごとにメロディも詞もコロコロ変わる。よく伸びる声も少しざらついた音も、ヘルベットのようだったり風のようにだったり捉えどころのない顔をしている。「流動的です。でも、その時の私たちにはそれが絶対的に正解やし」。大学が決まった高3の頃から、JUGIAの掲示板などを通じて音楽表現に転がりこんだサトさん。それまでも音を聴き漁っていた訳でもないから、ミュージシャンとしては運気きの部類に入るのだろう。しかしそれを照れながらも、どこかスゴミというか貴様を感じさせる彼女。「普段の生活では言えないことを歌で言えたら、少なくとも自分では癒されてる。そこに乗っかってもらえたらいい」。自分の正解は自分で握りしめる姿。スゴミの正体はどうやらコレだ。



Pocket MARIKO NAGAI

Pocket / MARIKO NAGAI
ファンハウス 3000円(税込)

「初めてのマイCD (笑)。小学生の頃です。この人のスパンとしたストレスのない歌い方がある意味正統派だと思う。この最初の出会いがもしフォークソングとかだったら、今の自分の歌も大分変わってたんだろうな」

ダブルロールズ ミュージシャン



結成10年数を数えるベテランロックバンド「赤目」は衰えるどころか、現在も積極的に活動中。ボーカル&ギター担当の長屋さんの「ホセ」という愛称は、アメリカを放浪中、メキシコ人に聞かされたところから

夏の仕事を終えれば、そのままギター講師へと転身。「理論云々はあまり教えません。最低限の知識は必要やけどね。ライブでいかにカッコよく弾けるかですわ(笑)」と自身の巡回りして得た技術を生徒にはストレートに享受する

「現実」の二文字から二足の草鞋(ダブルロールズ)を天秤の皿の上で量かざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨星。それが「ダブルロールズミュージシャン」

Vol.04 ホセ長屋

(所属バンド名: 赤目)

人生のピエラルキー
頂上にはバンドが置ける

静岡から大学進学という大義名分を引き下げ、バンド目的に上京したのは30年前。当時東京都の「MOON WEST」最盛期に、音楽に傾倒し勢いあまって大学をドロップアウトした過去を持つ破天荒なオヤジ、ホセ長屋さん。そんな音楽に向かうバイタリティーは現在でも衰えを知らず、昼は水道器具メーカー勤務、夕方はギター教室の講師、深夜はバンド練習と、50歳を目前にした男のなすタイムスケジュールとは信じ難い「一体がもつ限りはバンドを続けたいから、そのためには働かなあかんでしょ」と腹を括っているといえは語弊があるが、生活の頂点にロックバンドを置く男は、「バンドは人生そのものやね」との言葉を発する限り、情熱は冷めることはないだろう。

赤目(あかめ)info
■live 5/25 atネガボジ
■http://homepage.mac.com/sorazou/